

第1学年 技術・家庭科 シラバス (学習案内)

教科の目標

○中学校技術・家庭科の目標

生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

○中学校技術分野の目標

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

○中学校家庭分野の目標

衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

本校ではこれらの目標を次の「評価の観点と方法」をもとに達成することを目指します。

評価の観点と方法

観点別評価の項目	評価の観点	評価の方法
生活や技術への関心・意欲・態度	・積極的に学習に取り組もうとする態度や学習した技術や知識を家庭生活や社会生活をよりよくするために生かそうとする態度が見られるかについて評価します。	・授業中の発言 ・授業への意欲、関心 ・プリント等提出物への記入状況 など
生活を工夫し想像する能力	・生活を見直し、習得した知識や技術を積極的に活用してよりよい生活を送るために創意工夫しているかを評価します。	・テスト ・プリント等提出物 など
生活の技術	・生活を行うための基礎的な技術が身に付いたかを評価します。	・実習へ取り組む姿勢 ・実習での理解度 ・課題の完成度 など
生活の知識・理解	・生活をよりよくするために必要な基礎的な知識が身についているか。また技術とのかかわりについて理解しているかを評価します。	・テスト ・プリント等提出物 など

第 1 学年 技術・家庭科 学習計画

学期	月	学習内容（単元名）	学習のねらい
一 学 期	4		
	5		
	6	○ものをつくる技術について考えよう ・材料の使われ方を調べよう	☆ものをつくる技術がどのように進歩してきたか理解する。 ・身の回りの製品は、何をどのようにしてつくってあるのか理解する。
	7	・つくりたいものを考え、構想をまとめよう ・材料を加工して部品にしよう ・部品を組み立てて仕上げよう	・どうすれば身の回りのものが整理できるか、改善点を考える。 ・製作の計画を立て、材料を準備する。
二 学 期	8	・これからの生活と技術について考えよう	☆各自の行程に従い、製作を進める。 ☆これからの生活と技術について、実習の経験を生かして考える。
	9	○ガイダンス ・成長と家族	☆中学校技術・家庭科（家庭分野）の3年間の見通しをもつ。 ・小学校の家庭科で学習したことを振り返る。
	10	○健康と食生活 ・食事の役割 ・生活習慣と食事 ・中学生に必要な栄養 ・食品と栄養素 ・食事の計画	☆生活の中で食事が果たす役割や、健康と食事とのかかわりについて考える。 ☆栄養素の種類とはたらきを知り、中学生の時期の栄養の特徴について考える。 ☆食品の栄養的特質をふまえ、中学生に必要な栄養を満たす1日分の献立を考える。
	11	○食品の選択と保存 ・生鮮食品と加工食品 ・食品の表示 ・選択・購入・保存	☆生鮮食品と加工食品について理解する。 ☆食品の表示について知り、適切に商品を選択・購入・保存することを実践する。 ☆食品の安全について考える。
	12	・食品の安全と情報 ○地域の食材と食文化	☆地域の食材や郷土料理、行事食について理解する。 ☆自分や家族の食生活を見直し、課題を持って問題点の改善に取り組む。
三 学 期	1	○調理をしよう	☆調理の計画、材料や用具の準備、基本的な調理操作を考えながら簡単な日常食の調理について理解する。
	2	○消費生活と環境 ・消費生活のしくみ ・商品購入のプロセス	☆消費生活のしくみについて理解する。 ☆商品購入のプロセスや購入方法、支払方法を知り、適切に商品を購入することを身につける。
	3	・よりよい消費生活 ・環境に配慮した生活	☆消費生活のトラブルや消費者を支えるしくみを理解する。 ☆環境に配慮した生活をするを身につける。

◎学習計画は、実態に応じて変更することもあります。